

門扉、囲い罠・ICT関係



フィールドフェンスの出入りに
門扉
STEAL GATE



FAR 夢では、様々な野生動物対策に合わせたゲート（門扉）を開発しています。高さ、幅、網目など現地の被害状況、出入り口周辺の環境を確認しながら、最適なシステムをご提案いたしますので、ご相談ください。

※門扉は受注生産のため、納期にお時間を頂きます。
※大型商品のため、別途送料が掛かります。



フィールドフェンスカタログ
(野生動物対策、門扉、囲い罠ほか)



「守るフェンス」から「獲るフェンス」へ
囲い罠
CORRAL TRAP



囲い罠とは、野生動物をフェンスなどで囲われた場所に誘導し、一度に大量捕獲するための罠のことです。
FAR 夢のフィールドフェンスは、張り方を工夫することで、囲い罠として使用することも可能です。
また、ICTなどの先進技術を取り入れ、より効率の良い捕獲や防除を行う技術を研究・開発しています。



FAR夢ネットワーク

FAR 夢鳥取 〒689-3134 鳥取県西伯郡大山町高橋 327
TEL(0858)58-6261 FAX(0858)58-6265
FAR 夢信越 〒399-9211 長野県北安曇郡白馬村大字神城 22495
TEL(0261)75-4139 FAX(0261)75-4017

(代理店)

FAR 夢天北 〒098-5738 北海道枝幸郡浜頓別町緑ヶ丘 4 丁目 77
TEL(01634)9-2501 FAX(01634)2-4319

・掲載されている写真、文章、イラストの無断転載・利用はお断りします。
・記載された仕様・価格等は予告なく変更する場合がございます。
・商品の価格・送料については別途お問い合わせください。
・商品のカラーはカタログと多少異なる場合がございます。
・重量などの商品スペックに誤差が生じる場合がございます。

問い合わせ先

 **ファームエイジ株式会社**

ファームエイジ ホームページ
<http://www.farmage.co.jp>



フリーダイヤル エイジで 良い柵を
0120-82-4390

※携帯・PHSからもご利用になれます

緊張ができる特殊なネットフェンスです。
緊張することで、柵の強度が増すだけでなく、
ポスト（支柱）の間隔を広げることが出来ま
した。

ライトタイプは軽量で、一人でも簡単に運
ぶことが出来ます。専用施工道具を使用する
ことで安価で誰にでもこのネットフェンスを
張ることが出来ます。電気柵を併用すること
で野生動物防除にも、より効果的に対応でき
ます。

頑丈

エクスグリップ
イーザーベンダーフェンス

美しく

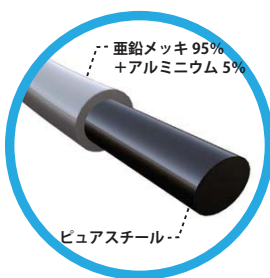
横線に高強度銅線を使
用し、柵を緊張して張るこ
とが出来ます。

長持ち

ザプラスワイヤー
強度にムラの無いピュアス
チール使用

安価

緊張することで支柱の本数
を減らすことができ、
安価に作製できます。



ポイント1

強度にムラの出ない**ピュアスチール**を使用
高耐食特殊メッキ（亜鉛+アルミ）で亜鉛メッキの2倍長持ち

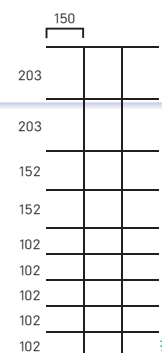
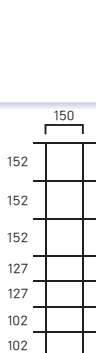
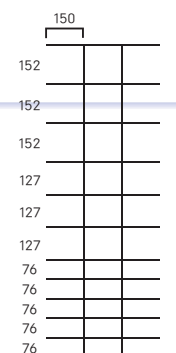
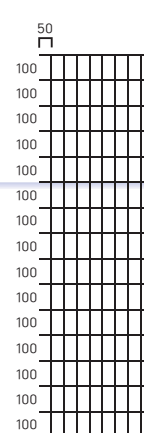
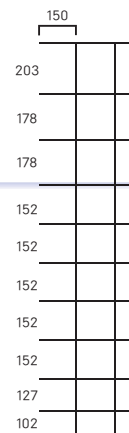
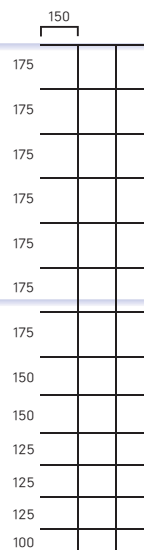
FAR 夢ブランドのネットフェンスは高耐久、高品質のザプラスワイヤーを使用し
ています。再生鉄を使用していないピュアスチールのため、強度にムラがなく高品質
です。また、通常の亜鉛メッキの2倍の耐食を持つ高耐食特殊メッキ（亜鉛 95% +
アルミニウム 5%）を施すことにより、更に高耐久になりました。

ポイント2

強度と安全性を考慮した**XGRIP（エクスグリップ）**仕様

結束部は特殊な結束方法を使い、鋭い突起が出ない大変なめらかな仕上がりになりました。
動物の体を傷付けないように配慮した国内初の技術です。また、線間隔を最小 50 mm まで狭め
ることが出来、小動物の侵入防止柵として効果が期待できます。

取扱フェンス早見表



高さ
2m

1m

折曲部

商品名	長さ(m)	重量(kg)	線形(mm)	対象動物(mm)	縦線間隔	横線段数
①フィールドフェンスH2000	100	133	2.5	ダチョウ、シカ	150	14 段
②フィールドフェンスH1550	30	30	2.5	ウシ	150	11 段
③フィールドフェンスH1500ライト	20	29	2.0	サル、ウマ、小動物	50	16 段
④フィールドフェンスH1200	30	30	2.5	ウシ、ヤギ	150	12 段
⑤フィールドフェンスH900	50	32	2.5	ヒツジ	150	8 段
⑥イーザーベンダーフェンスH1500	25	29	2.5	イノシシ、ブタ	150	13 段

※ライト仕様は線形が 2.0mm となっており、通常品よりも軽い仕様になります。
※大型商品となりますので、送料は別途御見積致します。地域によっては配送できない場合がございます。
※重量が 35kg 以上のフェンスは、宅配便での発送ができません。詳しくはお問い合わせください。
※フェンスの仕様は予告なく変更される場合がございます。



**簡単に折り曲げれる。
掘り返し防止フェンス。**

オリジナル イーザーベンダーフェンス
EASY-VENDER FENCE

※イラストはイメージです

対象動物 **イノシシ、シカなど**



特許 システム
(特許第 4969613 号)

取り付け 10 秒。
電気柵で既存フェンスを
新たな次元へ。

しのび返し支柱システム
POWER UP FENCE SYSTEM

※イラストはイメージです

対象動物 **イノシシ、シカ、サル、小動物など**



ポイント1



**地面との隙間ゼロへ。
フェンス下部 30 cm が簡単に折れ曲がる特殊構造。**

起伏が多い場所ではどうしても地面との隙間を無くすることが出来ず、動物に付け入る隙を与えていました。最近ではイノシシがそうした場所を掘り返し、フェンスを壊してしまうということも起きています。

FAR 夢ブランドのイーザーベンダーフェンスは、特殊技術加工によりフェンスの下部の折り曲げが初めてでも簡単に行えるようになりました。簡単に折り曲げることができるので、施工が楽になるだけでなく、自力施工をされる方にもオススメです。

ポイント2



**折り曲げ角度も自由自在。
ベグで固定することで、更にながちりガード！**

折り曲げ角度が自由にできるので、イノシシの掘り返し対策に有効です。また、折り曲げた箇所はベグを使って固定することで更にながちりガードすることが出来ます。

ポイント1



**接続フェンス、対象動物を選ばない。
全国で導入されている特許システム。**

FAR 夢ブランドのしのび返し支柱システム（特許システム）は既存の柵に電気柵を追加することで、柵の防除効果をさらに高めることが出来ます。支柱の角度や高さ、段数を自由に調整できるだけではなく、接続するフェンスを選ばない高い汎用性を持っています。こうした点が、各地の獣害対策事業で取り入れられ、高い効果を発揮しています。

ポイント2



**工具不要。1箇所あたり 10 秒で取付。
しかも、しなりがあり折れにくい。**

設置に工具は一切不要です。誰にでも簡単に取付けることができます。しなりがあり折れにくいグラスファイバー製のボールと、劣化しにくい垂鉛メッキのクリップを使用しているので、長くお使いいただけます。

特許 システム
(特許第 4969613 号)



ムービー
を
ご
覧
く
だ
さい。
撮
り
取
り
に
く
い
場
合
は
http://www.youtube.com/watch?v=1_04bM2h0E&index=2&list=UU6T8QJGgMgNvQrHTMezA

野生動物対策



シカ対策 (フィールドフェンス H2000)



シカ・クマ対策 (イーザーベンダーフェンス H2300+電気柵)



イノシシ対策① (イーザーベンダーフェンス H1500)



イノシシ対策② (ワイヤーメッシュ+しのび返し支柱システム)



サル対策① (フィールドフェンス H1500+しのび返し支柱システム)



サル対策② (菱形金網+しのび返し支柱システム)

畜産動物・その他



ウシ用フェンス (フィールドフェンス H1550+電気柵)



ヒツジ用フェンス (フィールドフェンス H900)



ブタ用フェンス (イーザーベンダーフェンス H1500+電気柵)



ウマ用フェンス (フィールドフェンス H1500)



ヤギ用フェンス (フィールドフェンス H1200)



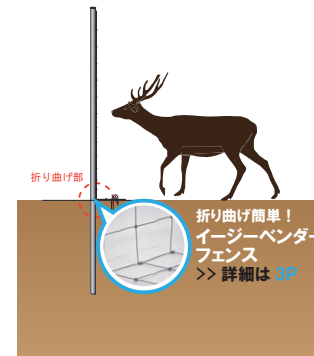
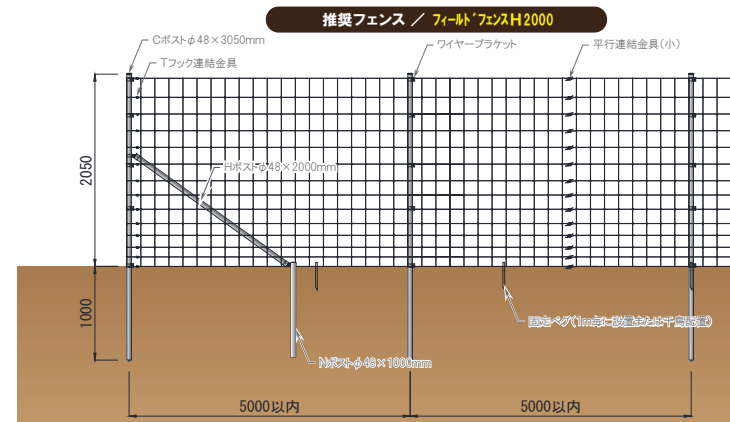
対侵入防止フェンス (フィールドフェンス H1550)



シカ



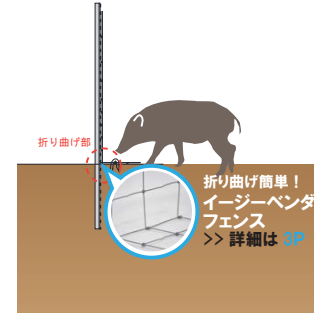
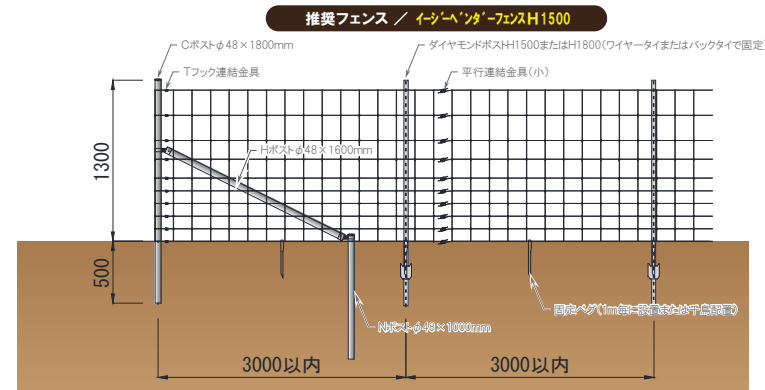
跳躍力の高いシカの侵入を防ぐには、フィールドフェンスの高さを2m以上に設定するのが基本です。また、低いフェンスの上部に「**しのび返し支柱システム**」を用いて電気柵をプラスすることで、低かったフェンスでもシカに対応することが出来ます。



イノシシ



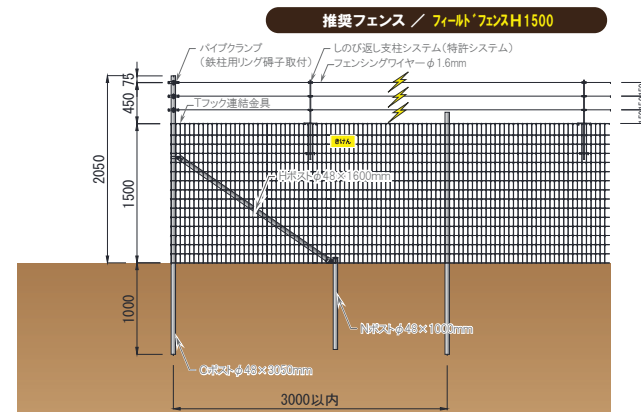
全国各地で被害が見られるイノシシは、鼻先で器用にモノを探っていく習性を持っています。最近ではその鼻でフェンスを持ち上げたり、掘り起こしたりして侵入するというケースが多くなっています。掘り起こし対策をする場合は、フェンスの下部が自由に折れ曲がる「**イージーバンダーフェンス**」が有効です。折れ曲がった部分はベグなどを使って止めることで、さらに強力なフェンスに仕上がります。



サル



知能や身体能力が高いサルの侵入を防ぐには、フィールドフェンスと「**しのび返し支柱システム**」を併用することで、防除することが出来ます。「**しのび返し支柱システム**」は斜めにせり出すように設置することで、より心理的効果を高めます。場合によっては、段数を増やしたり、プラス線とマイナス線を同時にさわるように設定することで、さらに効果を高めることが出来ます。但し、近くに電柱や木があればそこから簡単に侵入を許してしまいます。設置場所は周辺環境に十分配慮し、場合によっては、伐採などが必要になることもあります。



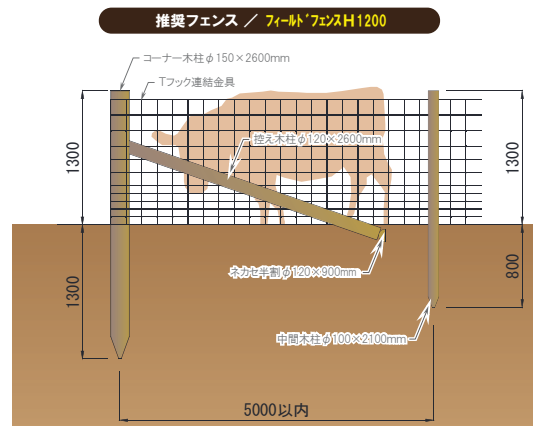
上記内容やイラストはあくまで標準的な仕様（イメージ）です。実際の設置環境や被害状況により、最適な対策や方法をご提案致します

ので、どうぞお気軽にお電話ください。



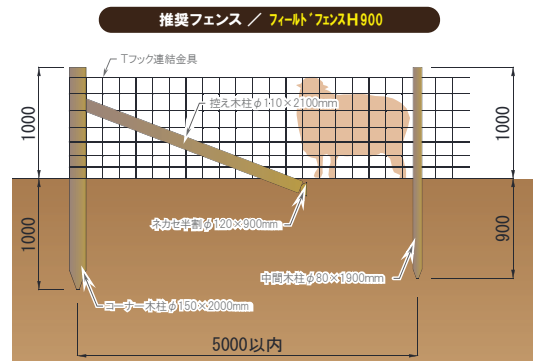
ウシ

人の立ち入りが多い場所やパドックなどでは物理柵のフィールドフェンスがおすすめです。ウシの場合は高さ 1200mm以上のフェンスを使用します。また、電気柵を併用することでより脱柵されにくくなります。



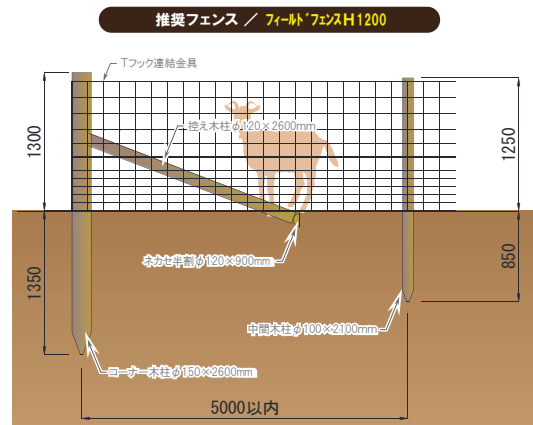
ヒツジ

多くの頭数を飼育している羊牧場の外周柵として、ネットフェンスが主流です。野犬やキツネなどの心配がある場合は電気柵を併用すると効果的です。



ヤギ

ヤギは高いところに登るのを好みます。ネットフェンスだけで脱柵されてしまう場合は、電気柵と併用することをおすすめします。



上記内容やイラストはあくまで標準的な仕様（イメージ）です。実際の設置環境や被害状況により、最適な対策や方法をご提案致します



お問い合わせください

設計から施工まで
なんでもご相談ください！

トータルで提案致します。

施工事例

ウシ用恒久電気柵（インサルウッドシステム）
ブタ用フェンス（併用柵）
ヒグマ用簡易恒久柵（インサルグラファイシステム） ほか

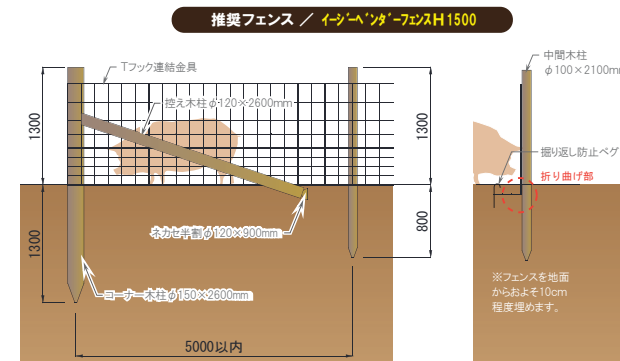


フェンスの設計から施工まで、専門知識と技術を持ったスタッフが対応いたします。まずはご相談ください。
※施工スケジュールなど、ご希望に添えない場合がございます。予めご了承ください。



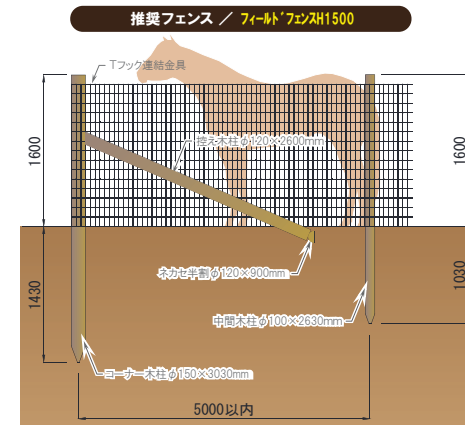
ブタ

こじあけ防止に下段を折りまげる「イージーベンダーフェンス」を使用するのが効果的です。また、電気柵を併用することで心理効果も増します。



ウマ

ウマ用に開発された目の細かい特殊なネットフェンスです。ひづめが入りにくく事故が起きづらい仕様になっています。希少在来種である対州馬の放牧フェンスとしても使用されています。



ので、どうぞお気軽に電話ください。

設置環境に合ったフィールドフェンスを設置するためには、設計前の計画が大切です。ここでは設置に至るまで、どのような工程を経るかを簡単に説明いたします。

① 設置ルートを確認する



・弊社デモファーム（実験農場）での設置・測量イメージ
●は折れ点 ゲートは出入り口部

確認ポイント

- 距離
- 支柱箇所
- 支柱間隔
- 対象動物

※対象動物別の仕様についてはP5～8をご確認ください。

設置ルートの状況を確認し、ルートを選定します。
砂利やコンクリートなど地盤が固い土地は、支柱を打ち込むことが困難です。電柱や立ち木などが近くにある場合や起伏が激しい土地は伐採や整地などの整備を行う必要があります。

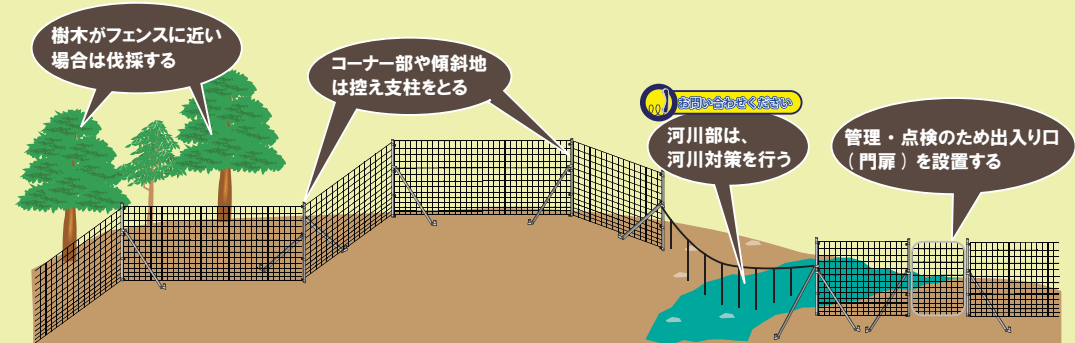


お問い合わせください

設置ルートについては、専門知識を持ったスタッフがアドバイスを行うサービスも行っております。詳しくはお問い合わせ下さい。



・ルート確認ポイント イメージ



② 必要資材を選定する



・カーブ部が多い場所での設置事例



お問い合わせください

資材選定については、御見積をとらせていただくことも可能です。お気軽にお問い合わせください。



確認ポイント

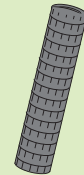
- フィールドフェンス
- 支柱（鉄柱または木柱）
- フェンス固定金具
- フェンス連結金具
- 施工道具
- 出入り口（門扉）

※門扉に関しては裏表紙をご確認ください

柵の仕様を決定し、資材数量を算出します。
仕様は対象動物、設置環境に合わせて大きく異なります。それらを確認した上で、資材数量を算出していきます。（対象動物の詳細な仕様はP5～8をご参照ください）。例えば、カーブしている場所や傾斜がある場所は、できるだけ多くコーナー支柱（控え支柱）を入れるほうが望ましいです。

・選定資材紹介

● フィールドフェンス



対象動物に応じて
選択します
（詳細はP5～8）をご参照ください。

● 支柱（鉄柱）

※木柱、木柱用U字釘（スティابل）などの資材も取扱っています。詳しくは別途お問い合わせください。

Cポスト、Hポスト、Nポスト
（始点部やカーブ部に
使用する支柱です）

ダイヤモンドポスト
（中間支柱として
使用します）



ポストブラケット
（C、H、Nポストを
接続する際に使用します）

● フェンス固定金具



ワイヤーブラケット
（Cポストとフェンス
を固定します）



バッグタイ
（バッグタイスティック
を使ってフェンスを固定
します）

● フェンス連結金具



平行連結金具（小）
又は（極小）
（フェンス同士を連結し
ストレーナーを使って
緊張します）



Tフック連結金具
（始点部にフェンスを
固定します）

● 専用施工道具



ランマー（鉄柱用）
（支柱を打ち込みます）



平行連結ストレーナー
（平行連結金具を緊張します）



バッグタイスティック
（バッグタイを簡単に支柱に
取り付けすることができます）



をご覧ください。
読み取りにくい場合は
http://www.youtube.com/watch?v=Aqig_JHz1hI&list=UU6TBOJfGaMgNvQrOHTJMeZA

③ 施工方法を確認する



確認ポイント

- 自力施工
- 業者施工



お問い合わせください

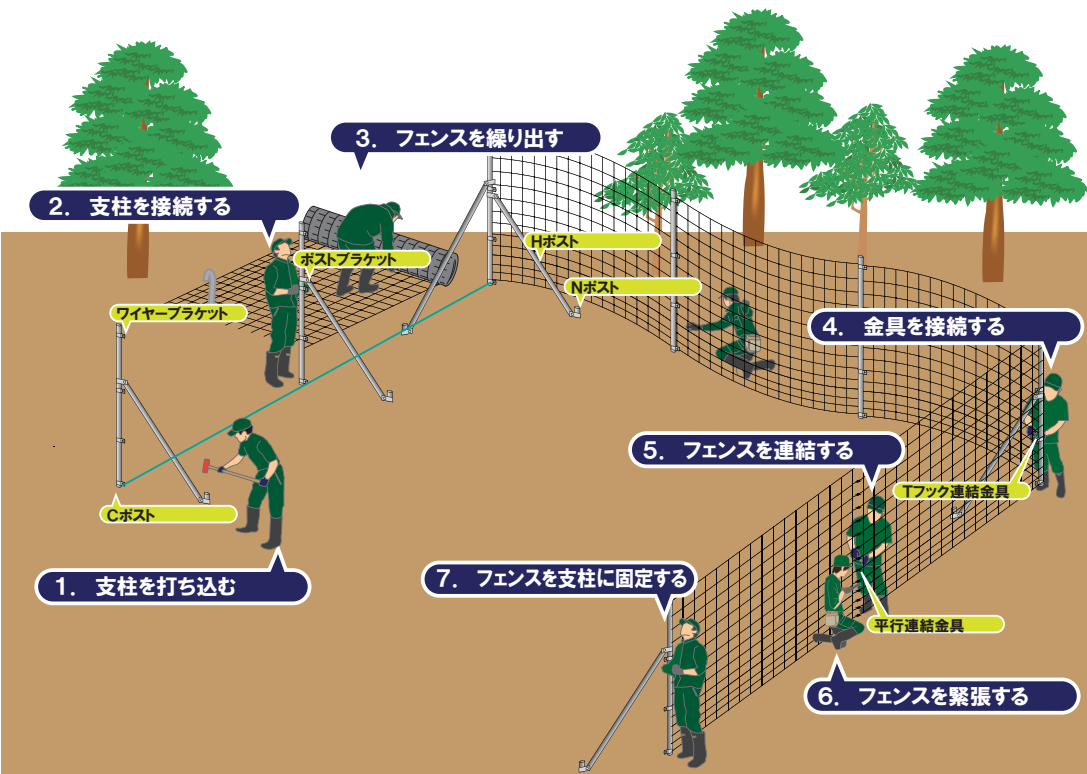
必要に応じて、現地での施工指導なども承ることが出来ます。詳しくはお問い合わせ下さい。



施工方法は大きく分けて、自力施工と業者施工の2種類があります。
FARブランドの専用施工道具を使うことで支柱の打ち込みからフェンスの固定まで、全て自力で行うことが出来ます（詳細はP13、14をご参照下さい）。施工方法を検討する際に、重機の使用有無、運搬車の使用についても確認が必要です。

FAR 夢ブランドのフィールドフェンスは自力施工が可能です。ここでは自力施工を行うにあたって、大まかな設置手順をご説明いたします。

※使用する資材や設置状況によって、施工手順は異なる場合があります。



1. 支柱を打ち込む

まず水糸を使って、支柱を打ち込む位置を決めます。打ち込む支柱には地中に打ち込む深さにしるしを付けておきます。ランマー（施工道具）やハンマーを使って、支柱をそれぞれ打ち込んでいきます。打ち込みが完了した後、Cポストにはワイヤーブラケットをフェンスの横線の位置に仮止めしておきます。



ランマーを使った打ち込み

2. 支柱を接続する

ポストブラケットを使って、Cポスト、Hポスト、Nポストをそれぞれ接続していきます。ポストブラケットを固定する際、径13ミリのラチェットを用います。



ラチェットを使って取付



ポストブラケットの取付

3. フェンスを繰り出す

フェンスを転がしながら繰り出していき、起こしていきます。この時、繰り出したフェンスが戻ってこないように杭などで固定しておく必要があります。

4. 金具を接続する

フェンス始点部と終点部では連結金具を用いて、Cポストにフェンス巻きつけて固定していきます。
Tフック連結金具は設置が簡単なだけでなく、解除ピンを使うことで一度入ったワイヤーを戻すことが出来ます。



Tフック連結金具の取付け

5. フェンスを連結する

設置距離が長くなると1本のフェンスでは張りきれません。そのような場合、平行連結金具を用いてフェンス同士を連結することで、延長することが出来ます。Tフック連結金具と同様に、解除ピンを使うことで一度入ったワイヤーを戻すことが出来ます。



平行連結金具の取付け

6. フェンスを緊張する

平行連結ストレーナーを用いてフェンス全体に緊張をかけていきます（右イメージ）。金具を下段から順番に少しずつ緊張をかけていくのがポイントです。

※重機が使用できる場合、緊張ボードという道具を使って、緊張をかけることが出来ます。詳しくはお問い合わせください。



平行連結金具の緊張

7. フェンスを支柱に固定する

最後にワイヤーブラケットを使って、フェンスと支柱を固定して完成です。
ダイヤモンドポストとの固定は、バックタイを用いると便利です。



ポストブラケットの取付



写真はバックタイ200mmのイメージ

バックタイの取付

POINT 設置後の注意点

フィールドフェンスは強度や耐久性が高いことに加え、電気柵などの柵と比べ、頻繁な管理をしなくても良いことも大きなメリットと言えます。しかし、全く管理をしなくても良いというわけではありません。ここでは、長くフィールドフェンスをお使いいただくためのポイントについて簡単にご説明いたします。



動物が衝突し破損した箇所



草が巻きついたフェンス

①定期的に見回りを行う

フェンスの歪みや破損を放置しておくと動物がその部分を狙って、侵入するようになり、さらなる破損の可能性があります。破損した箇所はできるだけ早く補修できる体制を作るために、定期的に見回りを行うよう習慣づけましょう。

②草刈りを行う

草刈などは不要と思われがちなフェンスですが、ツル性植物などが繁茂しつづけるとその重みで歪みが生じたり、人間側の視界も悪くなり、動物の警戒心を薄れさせてしまう原因になります。「しのび返し支柱システム」の場合は、電気柵の漏電に繋がってしまいますので、必ず定期的な草刈りを行ってください。